

## 【「解答を書く」ということ」について 2025 年度の試験を振り返る】

技術士二次試験は、書いたことが評価される試験です。つまり、「解答を書く」ということについての現状での自分の能力を把握することが重要な試験対策の一つです。そこで、「解答を書く」ということに関する質問（以下参照）がありますので2025年度の試験を振り返って質問に対する回答を考えてください。頭の中だけで回答を考えるのではなくノートなどに書き出しその内容を目で確認してください。

その結果を踏まえて、「解答を書く」ということに対する2026年度の試験対策を考えてください。

### 【質問】

Q1：2025年度の試験では、時間内で解答を書くことができたか？

Q2：Q1で、「できなかった」と回答した場合、どの試験科目で書くことができなかったのか？  
書けなかった試験科目を書く。例えば、「必須科目」のように書く。

Q3：なぜ、時間内で解答を書くことができなかったのか？ また、時間内で解答を書くためにはどうしたらよいか？

Q4：2025年度の試験では、所定の枚数で解答を書くことができたか？ すなわち、答案用紙の約9割以上を使って解答を書くことができたか？

Q5：Q4で、「できなかった」と回答した場合、どの試験科目で書くことができなかったのか？  
書けなかった試験科目を書く。例えば、「必須科目」のように書く。

Q6：Q4で、「できなかった」と回答した場合、なぜ、所定の枚数で解答を書くことができなかったのか？ 所定の枚数で解答を書くためにはどうしたらよいか？

Q7：2025年度の試験で、頭の中に解答はあったがそれがまとまらず答案用紙に解答を明確に書くことができなかったことがあったか？

Q8：Q7で、「あった」と回答した場合、どの試験科目で書くことができなかったのか？ 書けなかった試験科目を書く。例えば、「必須科目」のように書く。

Q9：Q7で、「あった」と回答した場合、頭の中にある解答を整理し答案用紙に解答を明確に書くためにはどうしたらよいか？

Q10：「“解答を書くこと”ということ」に関して2025年度の試験を振り返ったとき上記の質問以外で改善すべきことは他に何かあるか？ ある場合にはその具体的な内容を書く。例えば、「ある。簡潔な文を書くようにする」など。

Q11：Q10で、「ある」と回答した場合、その具体的な改善策0を書く。例えば、「日常業務の中で文の作成力をレベルアップする。具体的には・・・」など。

以 上